

新たな除排雪体制の構築に向けた取組の方向性

1 迅速性を重視した除排雪方法への見直し

- ・道路交通の確保を最優先とし、除雪のみの指令も含め、**除雪作業の回数を増やす**作業方法に見直す。

2 運用に見合った契約方法への見直し

- ・従来のシーズン契約から、原則、**作業量に応じた契約方法**に切り替える。

3 分かりやすい除排雪業務評価制度の構築

- ・市民に分かりやすく客観性のある評価制度、及び迅速性を重視した評価制度とする。

4 新たな雪寄せ場、雪捨て場の確保

- ・新たな候補地、遊休地や国有地の調査、豪雪時は雪寄せ場として小中学校校庭等の活用を検討する。

5 GPS等のICT技術の導入による進捗管理と情報提供の充実

- ・**全ての除排雪重機(1,000台規模)にGPSを搭載**し、作業管理と作業の見える化による情報発信の充実を図る。

